

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成30年3月26日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

筑前・筑後・豊前・豊後の農作物の出来を占う・・・江戸時代から続く「かゆ占い」

毎年3月30日、田籠地区にある「諏訪神社」で、粥に生えたカビの色や生え方によりその年の農作物の出来を占う江戸時代から続く伝統行事「かゆ占い」が行われる。境内に神主と神社総代など関係者数人が集まり神事後、占いが行われる。占いの記録と御粥箱は福岡県指定文化財になっている。

- 日時 3月30日(金) 午後1時30分から (30分程度)
- 場所 諏訪神社 (うきは市浮羽町田籠 1368-1)



▲ 昨年の「かゆ占い」の様子

福岡県指定文化財

御かゆ占い面絵記録 四冊
附 御かゆ箱 一個

うきは市浮羽町田籠諏訪神社
昭和三十九年五月七日指定

御かゆ占いは毎年一月十五日に宮司自ら三合三勺のかゆを炊き、大皿に盛り筑前、筑後、豊前、豊後の四ヶ国に区分して御かゆ箱に入れて神殿に納めておき、二月卯の日(現在は三月三十日)にとりだしてかびの生え方や色のつき具合によってその年の農作物の豊凶を占ったことをいう。この諏訪神社に伝わる面絵記録は、天明四年(一七八二)から占いの結果を記録し、かびの図を毎年年末にその年の作物の結果を書いたもので天候の予想もつかなかった昔、このような占いで農作物の豊凶を判断していたことを示す貴重な民俗資料である。

うきは市教育委員会

▲ 境内にある説明看板 (撮影分)

編集・送信: うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2018. 3. 26 発表 / 筑前・筑後・豊前・豊後の農作物の出来を占う・・・江戸時代から続く「かゆ占い」